

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年10月19日

【評価実施概要】

事業所番号	2774800581
法人名	医療法人 垣谷会
事業所名	グループホーム田井城の里
所在地	松原市田井城6丁目282番地2 (電話) 072-334-5311
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 9月 27日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤 8人, 非常勤 10人, 常勤換算	16.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	約25,000円	
敷金	有(円) ⑧			
保証金の有無 (入居一時金含む)	⑨ (200,000円)	有りの場合 償却の有無	⑩ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要 (平成 19年 8月 21日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	66歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人垣谷会 明治橋病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営し、病院に入院されている認知症高齢者が退院してからも住みなれた街でゆったりと過ごしてもらいたいという思いで作られたホームです。認知症に伴う様々な生活上の課題とも正面から向き合い、利用者・家族共々に安心感のある日常生活を送れることを目指しています。グループホームは1階2階の2ユニットです。併設にはデイサービスや厨房もあります。朝夕は利用者と共に食事作りを楽しんでいます。利用者の希望に沿ったメニューもあり、利用者からは美味しいと喜ばれています。玄関周辺の庭には菜園もあり、季節の野菜作りが楽しい、最近では芋掘りを終えたばかりです。毎日の入浴も可能で、1日に何度も入浴される方もいます。ホームでは利用者の希望に沿った支援に努めながら、自立した尊厳ある暮らしを送っていただけることを目指しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 外部評価で明らかになった課題については、改善に向けて取り組んでいます。ホームとしての理念をみんなで考えて作り上げました。また、介護計画書のサインの徹底も図りました。全体会議を開催しました。研修についても、大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、外部研修に参加しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については職員全員で集まって協議し、作成しています。管理者が評価する点については管理者が作成し、まとめました。各項目について職員間で真剣に協議し、気付きもたくさん出てきました。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議では、事業計画、活動内容の報告、行事予定、その他利用者の日常生活報告、スローガンやホームが大切にしていること、目指すべき目標について討議しています。夏祭りの太鼓の稽古や、相撲の稽古を見学したり、委員からは地域での行事について案内してもらおう等、さまざまな取り組みを行っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関脇に苦情箱を設置しています。各ユニットにも意見箱がありますが、面会時には家族から要望を聞いています。運営推進会議にも5,6名の家族の参加があり、そこでもたくさんの意見が出ています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常的に近所のコンビニへ出かけて、おやつやスポーツ紙を購入したり、公園やお寺へ散歩に出かけ、地域の方と挨拶を交わしています。近隣の方から玄関に植えている菜園の植え時等を教えてもらったこともあります。地域や民生委員からの案内があり、参加地区の行事にも参加しています。市に認知症介護についての市民相談がある場合は、グループホームで相談に対応する用意があります。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「表現を受け止められる人になろう」という事業所の理念を、長い期間かけて職員が話し合い作りあげました。周知徹底するため、会議の時には話し合っています。住み慣れた地域で安心して生活していただけるように、生活拠点としてのグループホームの役割についても考えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は会議等の際に、理念についての説明や話し合いを行い、職員が理解を深める工夫をしています。理念は、詰所の中に掲示しており、今後は理念を共有するための研修会も開催していく予定です。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	近隣で開催される秋祭りの太鼓の練習や、相撲部屋の稽古風景の見学、また身体障害者施設の餅つき大会に参加する等、地域との交流を図っています。運営推進会議のメンバーより地区の行事について教えてもらい、参加の機会を持つことにより地域交流につながっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、自己評価作成には職員全員で取り組んでいます。外部評価結果は、家族や全職員に報告し、具体的な検討を行い、改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成して幅広い立場の方の参加を得ており、家族についても5、6名の参加があります。外部評価結果を報告し、改善についての取り組みを話しています。今後、より理解を深めるため、家族の了解を得た上で日常生活をビデオに撮り、様々な場面から意見をいただけるよう検討しています。会議の中で、入居までに通いサービスが利用できるよう、地域の方から要望がありました。今後、法人内で協議されてはいかがでしょうか。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の職員とは必要時に意見交換を行っています。市の相談窓口「認知症介護」の相談に来られた方には、グループホームで相談機関の一つとして紹介してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会は頻繁にあり、また事業所も来訪しやすいような工夫をしています。家族へは最近の様子や病院受診の内容、薬の内服などについて報告しています。また、月1回は金銭管理の報告に添えて担当者がお便りや写真を同封し、送付しています。現金預かりの方には、出納帳に記載しレシートと一緒に保管して、来訪の際に家族のサインを求めています。来訪のまれな家族には、金銭管理の報告を送付していますが、その際、発信簿等に送付した日付を記載されることが望まれます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置し、フロアには苦情相談窓口を掲示しています。家族会はありませんが、機会があるたびに家族からの意見を傾聴し、対応しています。対応した件については、今後玄関脇に掲示していくことを検討しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努め、利用者との馴染みの関係を大切にしています。新しい職員が入る時は、業務マニュアルを作成してスムーズに働けるように工夫しています。職員の労働意欲を意地するためにも、残業を減らす、休みを取りやすくする、会議を時間内で済ませるようになる等の工夫をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については、職員が順次参加して報告書を作成しています。しかし、「緊急時対応」「認知症」「感染症」を含んだ研修計画が策定されていない状況です。	○	今後は緊急時対応、認知症、感染症の研修を含む年間6回の参加が求められます。また研修受講後は、全職員に周知できるように伝達研修を開催することが求められます。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会には加入しており、他市町村のグループホームとは交流の機会があります。しかし市内事業者との連携までには至っていません。今後は、市内のグループホームや同法人内との勉強会・研究会を開催し、日々のサービスの向上に活かすことが期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居までに面接、相談の機会を多く持っています。入居してから本人の意向に沿いながら、徐々に馴染みの関係を構築しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から浴衣を作ることを教えてもらったり、昔の話を聞かせてもらったりしています。また植木の手入れに関しては、経験者が複数おられるため、交代で手入れをしてもらうなど、共に支えあいながら生活しているという関係を築いています。また週1回お茶会を開催し、対話やカラオケを通して人間関係を深めています。利用者の中には自身で洗濯をしている方もおり、今後とも日常生活行動を通じた自立支援に取り組まれることが期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	阪神タイガースが好きな人は近くのコンビニへ新聞を買いに行き、店の人と親しくなっています。ホームの食堂横の応接室でゆっくり新聞を読んでいる姿が見られます。それぞれが自分の思いや希望に沿って生きられるように配慮されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は職員全体で把握しており、日々の記録には、職員が容易に確認できるような工夫があります。また利用者や家族とも話し合い、意見等を介護計画書に反映しています。作成した介護計画書には家族の同意のサインもありました。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月ごとに見直しています。目標についての日々の記録や週ごとのモニタリング、月1回の会議での話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて計画を見直しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	昨年より訪問看護ステーションと医療連携体制を実施しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望でかかりつけ医に受診している利用者もいます。また、母体の病院とは定期検診等で連携を図り、また24時間緊急時対応も可能です。週1回は訪問看護師の受け入れを行い、訪問歯科も受け入れています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期や重度化した場合の対応については、医師、看護師、介護職員、家族と共に話し合い、意見を確認しながら支援の方針を決定し、情報の共有も行っています。現在は終末期の看取りの実施はありません。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際、プライバシーに関する意識の向上を図るために、また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。利用者の誇りやプライバシーには注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は決まっていますが、利用者の日々の体調や希望に合わせて過ごせるように支援しています。できるだけ個別性に配慮した支援を行っています。少しでも横になりたい時などは、自室で自由に過ごせるように配慮しています。また、喫煙などの要望にも対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は朝夕外部業者から配達されます。昼食はデイサービス厨房で作られたものをみんなで盛り付けます。ごはん味噌汁はホームで用意します。昼食は品数も多く、いつも美味しいと利用者から好評です。職員も利用者と共に同じものを食べながら介助しています。利用者も食後は下膳や食器洗いと、できることを分担して行っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日おきに入浴ができるように支援していますが、毎日入浴される方もいます。体調不良の方には無理強いせず、翌日に予定を変更する等、柔軟な対応を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味で盆栽の手入れをする利用者や元植木職人の利用者が、ホームの植木の手入れを楽しまれています。また時々自宅に帰り、友人とお茶やおしゃべりを楽しまれている利用者もいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺は田んぼやお寺があり、散歩には毎日出かけています。コンビニエンスストアやホームセンターへ車椅子で出かけたり、衣類が欲しいときは商店街へ出かける等、ショッピングを楽しんでいます。初詣やお花見、紅葉狩り等の行事には車で出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム入り口は正面ではなくて奥まっしているところにあります。事務所は1階で職員目の届きやすいところにあり、またロックキーは利用者の手が届くところにあるため、自由に出入りができる工夫をしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は年2回、消防署の協力にて実施しています。災害時マニュアルを作成し、職員全員で確認しています。非常食や水など、非常時の物品の用意もあります。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取量については記録し、職員は把握しています。また、栄養バランスについては、専門家がカロリー計算をしています。夜間帯の工夫として希望者にはお茶が入ったボトルを渡し、自由に飲んでもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広々として採光も明るく周囲の田園風景が見渡せ、四季が楽しめます。洗濯干し場や廊下、居室やお風呂場は段差を解消し、トイレは車椅子対応にする等、建物内はバリアフリーとなっています。調理場の配膳台も適切な高さになっています。玄関やリビングにはお花や植木鉢が飾られ、家庭的な雰囲気と清潔感があります。食堂は、少人数で食事を摂ってもらえるよう、3箇所テーブルを設けています。また、利用者への配慮から、食堂の椅子にも一工夫があります。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所からはタンスやベッドが用意され、居室には洗面所と押入れが付いています。その他に自宅から椅子、テレビ等が持ち込まれています。写真、絵画、植物、本、孫からのプレゼントなど自分の部屋を居心地良いよう工夫しています。カーテン、絨毯を持ち込まれている利用者もいます。		